

こぶしだより

1997年5月31日(金)

発行 第204号

こぶし作業所

宇都宮市柳田町1401

☎0286(62)1911

出店ラッシュ

「パワフルけやき」

去る五月三日・四日の2日間、益子町の陶器市に出店しました。

保護者会のみなさんからお米や野菜などを寄付していただき、前日の朝から仕込みにかかり午後には準備万端、後はお天気が良いことを祈るだけです。

三日の天気予報は雨……いよいよ当日、曇り空でも何とかもちそう。明るく美しい声で「いらっしやいせー」お客様の出足もまずまず、売り上げもまずまず。

翌朝、目を覚ますと激しい雨音。「ゲツ 雨だー」ちょっと沈んだ気持ちで出店場所へ。しかし、準備をしている間に雨は上がり、素晴らしい五月晴れとなって、けやきの仲間の普段の行いが良いからだとの話でもちきりでした。お天気の良さも手伝ってか、



初参加

四月二十六日(土)、芳賀町役場前の駐車場にてフリーマーケットが開催され、けやき作業所の職員4人が参加しました。このフリーマーケットは、芳賀町祖母井商店街にある宮本食堂さんが加盟している、アフリカ救済委員会が主催したものです。今回のフリーマーケットには約150団体の参加申込みがあり、当日私達は8時45分着くと、広い会場はすでにたくさんのお客で埋まり、自分たちの出店場所を探るのが大変でした。お店を開くとすぐにお客さんが来て、「けやき作業所ね、立街道にあるんでしょ。」とか「いつも町民祭の時にバザーをしているよね。」と声をかけてくれ、芳賀町でのけやき作業所の知名度が高くなっていくのがよくわかります。販売の方も、古着・雑貨等で2万円を超える売上となりました。これも、フリーマーケットを主催してくれお声をかけ

てくださった宮本食堂さんのおかげです。誠にありがとうございました。*

宮本食堂は芳賀町祖母井商店街の南端にあり、メニューも豊富でおいしいです。芳賀町にお越しの際は是非宮本食堂にてお食事を!

(田島)

フリーマーケット

6月のこよみ

1(日)	休所
7(土)	指導会議
8(日)	休所
14(土)	職員会議
15(日)	けやきまつり
16(月)	振替休日
21(土)	休所
22(日)	"
28(土)	"
29(日)	"

みなさんご協力ありがとうございました。そして、大変お疲れさまでした。また次の機会も頑張りますよ!

(けやき保護者会 逆井)



ひろがれコンサート

こころに花を咲かそう



けやきまつりのお知らせ!

〈日時〉6月15日(日)

午前10:00 ~ 午後2:00

〈場所〉けやき作業所

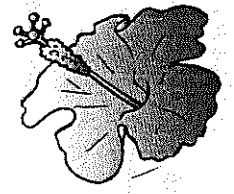
〈内容〉
 ・ドラム太鼓
 ・沖縄民謡
 ・模擬店各種
 ・のど自慢 etc.

お待ちしております!!

お蔭様で 大成功

働こう障害者も働けるんだオレたちも

※当日の詳しい様子等は来月号で報告します。



平成九年五月三十日

ひろがれコンサート実行委員会

実行委員長 青山 實

こぶし作業所・けやき作業所

所長 住谷 佳裕

拝啓 さわやかな初夏の季節となりました。このたびの「ひろがれコンサート」には多大のご支援を賜り誠にありがとうございました。

お蔭様でコンサートは沢山の方々のご来場をいただき、大盛況で開催することができました。

喜納昌吉さんは「花」などを感動的に歌ってくださいました。仲間の舞台では、こぶし・けやき作業所の入所者たちがボランティアの方々と一緒に元気一杯合唱しお客様から大きな拍手を頂きました。

コンサート収益は現在集計中ですが、予想した以上の益金が見込まれます。この益金はけやき作業所及びデイサービスセンターの建設資金として活用させていただきます。

こぶし・けやき作業所にお寄せくださいました皆様方のあたたかいご支援に深く御礼申し上げます。また、今後ともこぶし・けやき作業所にご指導ご後援賜りますようお願い申し上げます。

とりあえず御礼申し上げます。

敬具

モテモテ
新人職員
産休
身体に気をつけて

四月より、こぶし作業所で勤務させていただくことになりました、『赤瀬道徳』と言います。

出身は、みかんの香りが漂う瀬戸内海の小島です。

現在は石鹸班で油まみれになりながら、日々質の向上に励んでいます。こぶしでチョロチョロしている姿を見かけましたら、お気軽に声を掛けて下さい。

未熟者ですが一生懸命頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。

(赤瀬)



シリーズ こぶしの実践

宿泊訓練 vol.②



(渡辺郁)

和気あいあいとした宿泊訓練ですが、やはり生活をする訳ですから、お互いの生活振りが見えてきます。基本的な生活習慣にしても、そのスタイルは様々です。

後の人：仲間同様、職員と同じ事です。ですから、こちらから「こういうやり方が正しい」などと押しつける訳には行きません。20年30年と歴史を重ねてきた、生活の重みを感じるからです。そういう中でも一番心を痛めるのは、基本的な生活の営みであるこぶしという行為に、自ら取り組もうとする意志や意欲を持っていない仲間たちのことです。

健康 モリモリ

朝なのに元気がなくて、なんとなくフワフワしているアナタ。朝ごはんちゃんと食べてきましたか？
食事は、朝・昼・夕1日3食が基本。その中でも朝食が一番大切な食事なのを知っていますか？私たちの体は、朝ごはんを食べることで100%目覚めるのです。「今日も一日頑張るゾ！」という気持ちもわいてくるでしょう。

目はあいているのに、体と心が眠っていたのでは、夏の暑さ、冬の寒さはもちろん、ちょっとしたことでケガをしたり、病気になったりします。

明日の朝から時計を10分進ませて『バナナと牛乳』カンタン朝食始めましょう！慣れてくれば、ごはんもおかずも食べられるようになりますよ。そして、0-157にも負けないような体力をつけましょう。(食事の前の手洗いも忘れずに。) by 栄義士

けやきの指導員、塩入(職場ネーム)さんが五月七日より産休に入りました。出産予定日は七月二日とのこと。元氣な赤ちゃん楽しみにしています。お体大切にして下さい。尚、その代わりというわけではありませんが、高橋副所長がけやきに配属となり、オープンに向け準備を進めて行きます。

不十分ながら自分でできるにもかかわらず、声掛けや指示があつてやっと動きたすといった感じでした。

これは、技術的に未だ不十分であるということもあるでしょうが、こうした行動が次に繋がる、つまり、見通しを持っていないこともその原因があるのではないでしょう。顔を洗って食事をしなさい。今日も作業所に行くぞ！

自分自身をさらけ出す事であり、特に入浴・トイレの介助をうける仲間にとって、対介助する人間との信頼関係の中のでこそ、安心して受ける事ができるのではないのでしょうか。

本来なら大成功とも言える第2回ひろがれコンサートの過程で出会ったいくつかのエピソードを書き留めるはずだったのだが、それはそれでいいつかの機会に書くとして、浮ついた気分ではいられない出来事を耳にしてしまった。それは、こぶし作業所からはさほど遠くない町での事件だ。全くの人伝いだし、マスコミも報道していなかったのですが、生の全くの早合点かもしれないが、事件というのはこうだ。

「A君という知的障害者がたまたま刑事事件の現場近くを事件当時通りがかり、近隣の住民に目撃通報された。現場の遺留品とA君の持ち物のサイズが一致したという理由で自宅捜査され逮捕拘留、数時間の尋問の後本人が自白書に拇印を押した。しかし、同一犯の事件と思われる事件はこの他にいくつか発生していて、A君は全く関与していないらしい。」ということだ。

「A君がもしこうした犯罪を犯したとしても、家族がA君を探している数時間の内に犯行を確定できるのかという疑問が残る。A君はともおとなしい性格の子で、殺気だっただけでどれだけ自己表現できるのか疑問だと言っている。彼を知る関係者の話である。知的障害者がこうした犯罪とは無縁だと、障害者天使論のように現実離れしたことを言うつもりはさらさらないが、せめて本人の心を開ける人々の同席のもとに、事実関係を明らかにしてほしいと思つたのは小生だけだろうか。世の悪や害を障害者や弱者に根源を求めるとの強さ、早さに驚く。茨城の暴行事件では知的障害者が被害にあったが、彼らの証言は信憑性が薄いと裁定の根拠にはなりなかつたという。せめてそのくらい慎重さがほしいというのは、あまりにも情けない逆説ではないか。

(鬼やんま)

みんなで大い

(鈴木)

